

2026年6月9日

コトブキシーティング株式会社  
阪神電気鉄道株式会社  
株式会社阪神タイガース



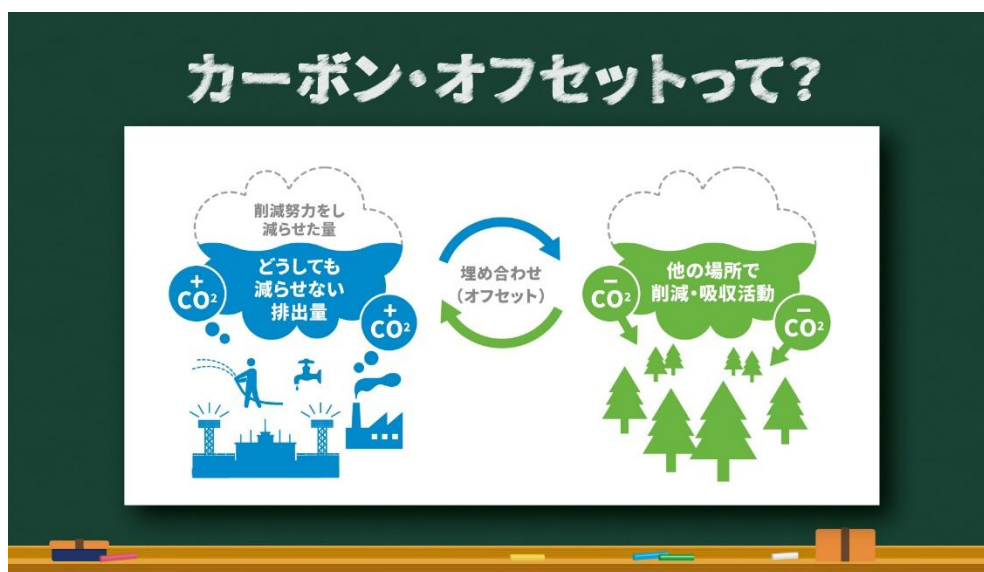
コトブキシーティング株式会社とともに  
今年の夏もカーボン・オフセット試合を開催！

## 6～7月に阪神甲子園球場で開催される 阪神タイガース主催9試合で排出するCO<sub>2</sub>をオフセットします！

コトブキシーティング株式会社（社長：深澤重幸 以下「コトブキシーティング」）、阪神電気鉄道株式会社（社長：久須勇介 以下「阪神電気鉄道」）、株式会社阪神タイガース（社長：粟井一夫 以下「阪神タイガース」）は、J-クレジット制度<sup>\*1</sup>を活用して、阪神甲子園球場で開催される阪神タイガース主催の合計9試合で排出するCO<sub>2</sub>、およそ225tをオフセットします。これは、杉の木約15,000本が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に相当します。

この取組みは、「KOSHIEN“eco”Challenge<sup>\*2</sup>」の一環として、阪神甲子園球場と阪神タイガースが、コトブキシーティングによる賛同・支援の下、空調機の稼働などでCO<sub>2</sub>排出量が多くなる6～7月の試合のうち9試合<sup>\*3</sup>を「カーボン・オフセット<sup>\*4</sup>試合」に設定して実施するもので、今年で6回目の開催となります。

阪神甲子園球場は、2025年度から「電気使用における実質再エネ100%<sup>\*5</sup>」を実現しているものの、試合日には空調・売店での調理などによりガス・水道の消費や廃棄物の処理に伴うCO<sub>2</sub>を排出します。そこで、「カーボン・オフセット試合」を通じて、更なる脱炭素と環境保全に取り組んでまいります。



## 【賛同・支援企業について】

### コトブキシーティング

創業以来 110 年以上にわたり、スタジアムやアリーナ、劇場・ホール、映画館、教育施設などさまざまな空間における安全で高品質なイスづくりを追求してきました。ものづくりや企業活動においては、「3R+Renewable」を基盤に環境への配慮と社会への貢献を目指しています。リデュース=ゴミの排出量を減らし、リユース=物を繰り返し使い、リサイクル+リニューアブル=資源や製品を再利用し、再生可能な資源を活用した環境配慮製品の提供に取り組んでいます。


製品に使用する素材には、再生材や再生可能材に加え、カーボンニュートラルへの貢献が期待される木質材料を積極的に採用しています。

コトブキシーティングはこれからも、地球に優しい製品を提供してまいります。

今回の取組みでは、コトブキシーティングが、阪神電気鉄道、阪神タイガースの取組みである、カーボン・オフセット試合に対して、賛同する形で協賛し、更に日本 GX グループが運営する JCX を通じて獲得した再エネ由来のカーボンクレジット（J-クレジット）により、期間中の阪神甲子園球場開催試合で排出するCO<sub>2</sub>をオフセットします。

コトブキシーティング、阪神甲子園球場、阪神タイガースは、CO<sub>2</sub>削減をはじめとする環境保全に寄与する取組みを通じて、これからも積極的に社会に貢献していきます。

## 本文中の用語解説

- ※1 J-クレジット制度は、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組みによる、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を、クレジットとして国が認証する制度です。本制度により創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、さまざまな用途に活用できます（J-クレジット制度ホームページより引用）。
- ※2 「阪急阪神ホールディングス サステナビリティ宣言」において定めた6つの重要なテーマのうちの1つである「環境保全の推進」に取り組むため、阪神甲子園球場が2021年12月9日に宣言した取組みです。「環境への配慮」「廃棄物発生の抑止とリサイクルの推進」「CO<sub>2</sub>排出量の削減」「再生可能エネルギー等の活用」をテーマに掲げ、環境にやさしい球場を目指しています。
- 
- ※3 2026年6月30日（火）～7月2日（木）の対中日ドラゴンズ戦、7月3日（金）～5日（日）の対広島東洋カープ戦、7月10日（金）～12日（日）の対東京ヤクルトスワローズ戦の合計9試合。
- ※4 できるだけ排出量が減るよう削減努力を行ったうえで、日常生活や経済活動などにおいても排出されてしまうCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス（カーボン）について、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することなどにより、排出される温室効果ガスを埋め合わせる（オフセット）という考え方です。
- ※5 「スタジアムで全国初！阪神甲子園球場でコーポレートPPAを活用した電力使用における実質再エネ100%を実現」（2024年11月20日）  
<https://www.hanshin.co.jp/press/detail/004259.html>

以 上